

所属・資格 総合文化研究所・教授

申請者氏名 滝澤 雅彦

研究課題		台湾文化の重層的構造と日本～学校教育に関する比較文化の視点からの考察
報告の概要	研究目的 および 研究概要	<p>①研究目的：国際社会の一員、アジアの一員としての日本人の真の国際化とは何か、ということについて、学校教育に視点を当て、これからの学校教育、道徳教育、社会科教育、国際理解教育の在り方を、比較文化の視点から考察する。</p> <p>②研究概要：グローバル化が進展し、東京オリンピックを控える我が国を訪れる外国人の中で上位を占める台湾、また、多くの日本人の渡航先として上位を占める台湾、東日本大震災後、いち早く、かつ最大の支援を行ってくれた台湾。台湾の人々の日本理解の理由について、これまでの諸研究では行われてこなかった学校教育の視点から探る。一方、日本人は台湾のことをどのように見てきたか、理解しているかについても、従来にはなかった学校教育の視点から分析を行う。これら学校教育に視点を当てた比較文化論的考察から、日本人の真の国際化とは何かということについて提言を行う。</p>
	研究の結果	<p>研究目的の1つである「これからの学校教育の在り方についての考察」に関して4つの視点からの研究を行なった。</p> <p>その第1は、学校教育の3つの柱の1つである生徒指導について、生徒指導を担当する一般教員と管理職及び教育委員会という3つの立場のそれぞれの指導の在り方と役割についての研究を行ない、成果として発表した。</p> <p>第2は、学校運営の推進母体として推奨されている「チーム学校」について、「チーム学校」を推進する管理職のうち、特に教頭・副校長の職務推進の基本的な心構えと具体的な職務行動の在り方について研究を行ない、成果として発表した。</p> <p>第3は、学校運営の要である教頭・副校長の職務上の危機管理の具体例について研究を行い、成果として発表した。</p> <p>第4として、学校教育の主要な課題である多様化する教育課題への対応について、公益法人の調査研究の取りまとめを行い、成果として年度末に発表する。</p>
	研究の考察・反省	<p>①研究の考察：これからの学校教育の中心的な課題は、多様化する教育課題への対応である。それらの取り組みの成果を左右するのは、学校運営の要としての管理職の在り方、取り組みである。このことの重要性を、具体的な事例や方策を広く提案・提言することが喫緊の課題である。今後は学校教育の他の分野を含めて提言すること、及び、比較文化の視点からの研究と提言が求められる。</p> <p>②反省：研究目的のうち、その土台となるこれからの学校教育についての考察・研究は進んだが、その発展としての比較文化の視点からの考察には、時間的な制約から取り組むことができなかった。来年度以降の研究において工夫・改善の上、取り組む所存である。</p>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>①研究発表：日本生徒指導学会及び日本台湾学会における発表準備に取り組んだが、学会発表には至らなかった。次年度以降、発表を行う所存である。</p> <p>②研究成果物： i : 「教職研修 11月号」2018年11月1日発行（教育開発研究所） ii : 「「違い」がわかる生徒指導」2018年12月15日発行（学事出版） iii : 「月刊生徒指導 2018年12月増刊号」2018年12月5日発行（学事出版） iv : 「なぜ指導がうまくいかないのか」2019年1月23日発行（学事出版） v : 「調査研究資料第29集」2019年3月31日発行（日本教育会）</p>	